

### 東アジア世界史研究センター公開講座

3年目を迎えたオープニング・リサーチ・センター整備事業「古代東アジア世界史と留学生」プロジェクトの本年度初の公開講座が7月11日、生田キャンパスで200人が参加して行われた(社会知から隋、唐に



「遣隋・遣唐留学生と日本文化」 仏国立高等研究院教授らが講演

世界史のなかでの歴史的意義や影響を探る。今回のテーマは「遣隋・遣唐留学生と日本文化」。国際情勢や大陸文化を学ぶために十数回にわたって日本から隋、唐に

そのふるさとについて講演。続いてフランス国立高等研究院のシャルロット・フォン・ヴェアシュア教授が「遣唐使―帰国後の待遇について―」のテーマで、帰国後の遣唐使の待遇を、現代の貨幣価値に置き換えて多方面から解説した。つづいて国際大学の関野一氏は「日本中世史研究からみた遣唐使」を講演した。

### パネルディスカッションを進行する上田研究科長(左)



### 商学研究科・東京信用保証協会共同公開講座 「中小企業のリスクマネジメント」

探り、企業内倫理を確立することで長期的に利益率、売り上げが向上していく。マニュアル中心のリスク・コントロールではなく、対話を重視するソフト・コントロールが、社員の創造性向上につながると報告した。続いて高野国際会計事務所の高野仁一氏が「成長のリスクとチャンス」について講演した。

### 大学院商学研究科が東京信用保証協会と連携して実施している共同公開講座の第4回「中小企業のリスクマネジメント」

が7月11日、生田キャンパスで開かれた。中小企業経営者、後継者のほか、学生など約130人が参加した。

### 「川崎市の新商業ビジョン」 街づくり連動の商業振興を

商業を取り巻く環境が、高齢化の進展やライフスタイルの多様化などを背景に、大きく変化しているなか、7年ぶりに川崎市の地域商業振興ビジョンが策定された。

### KSコミュニティ・ビジネス・アカデミー講演会

「川崎市」をテーマにした特別講演と、今後のアクションプランを基にした特別講演。決による商店街活性化、魅力ある個店の創出など新たなビジョンの考え方を、今後のアクションプラン係(04)922-9384

### 法学部学術講演会

7月10日、生田キャンパスで法学部学術講演会「分権時代における市政運営の課題、危機管理」を開催した。約600人が参加した。



学生からの質問に答える会田市長(右)

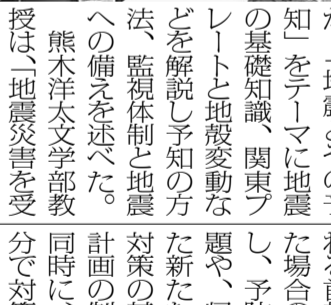
飯塚副議長は「地震発生時、『議会』としての機能が果たされなかった反省を踏まえ、有事の際に速やかに対応できる体制を目指している。今後の復興状況とともに、柏崎市議会の改革に注目していただきたい」と述べた。

### 「分権時代における市政運営の課題、危機管理」

「分権時代における市政運営の課題、危機管理」をテーマに、約600人が参加した。約600人が参加した。

### 中越沖地震から2年

7月10日、生田キャンパスで法学部学術講演会「中越沖地震から2年」を開催した。約600人が参加した。



柏崎市の会田市長が講演

柏崎市長と飯塚副議長との対応、避難所の問題、ライブ

### 米国統治下沖繩の職業と法

本書は、米国統治下の沖繩における住民を対象とした職業保障に関する法制の形成と発展の過程を考察し、その特質を究明する。職業保障は、住民がその生存の基盤とする職業について、生涯にわたって多面的かつ総合的に保障するため、システムの全体を包括的に考察する必要がある。著者(なかのいづほ)は、米国の職業保障の歴史を考察し、その特質を究明する。職業保障は、住民がその生存の基盤とする職業について、生涯にわたって多面的かつ総合的に保障するため、システムの全体を包括的に考察する必要がある。著者(なかのいづほ)は、米国の職業保障の歴史を考察し、その特質を究明する。

### 社会科学研究所定例研究会

社会科学研究所(所長 町田俊彦)が7月21日、サテライトキャンパスで開かれた。土屋昌

### 土屋、根岸両教授が講演

根岸教授は「フランスと中国との相互的な共同か?」。

### 自然科学研究所講演会

自然科学研究所(所長 近藤正明)が7月18日、生田キャンパスで開かれた。写真。

### 地震災害の予測と対策テーマに

地震災害の予測と対策」が7月18日、生田キャンパスで開かれた。写真。

### 金融危機にどう立ち向かうか

「失われた15年」の教訓。田中 隆之著。世界金融危機・同時不況のなか、各国政府・中央銀行は異例ともいえるさまざまな対応策を打ち出している。それらは、どのような狙いと効果をもつのか。このうた議論に示唆を与えるのが、平成不況、すなわち「失われた15年」における

### 米国統治下沖繩の職業と法

本書は、米国統治下の沖繩における住民を対象とした職業保障に関する法制の形成と発展の過程を考察し、その特質を究明する。職業保障は、住民がその生存の基盤とする職業について、生涯にわたって多面的かつ総合的に保障するため、システムの全体を包括的に考察する必要がある。著者(なかのいづほ)は、米国の職業保障の歴史を考察し、その特質を究明する。職業保障は、住民がその生存の基盤とする職業について、生涯にわたって多面的かつ総合的に保障するため、システムの全体を包括的に考察する必要がある。著者(なかのいづほ)は、米国の職業保障の歴史を考察し、その特質を究明する。

### 金融危機にどう立ち向かうか

「失われた15年」の教訓。田中 隆之著。世界金融危機・同時不況のなか、各国政府・中央銀行は異例ともいえるさまざまな対応策を打ち出している。それらは、どのような狙いと効果をもつのか。このうた議論に示唆を与えるのが、平成不況、すなわち「失われた15年」における

### 専修人の新し本

自衛隊にいたるまで、わかりやすい英文で描き出している。想定される読者が、海外において「日本」を学習しようとする学生、軍人など初学者であることから、彼らの興味と理解を促すために、全ページカラー刷りで、写真や図版もふんだんに用いられている。また、序章で日本の海洋地政史が解説され、付録にも詳細な歴史資料が添付されているので、英文による日本史全般の学習テキストとして日本人学生も活用できるだろう。共著者(さしま・なおこ)は、経済学部教授、主な担当は英語。